

★セルフスタンドでは給油前に
静電気を除去しよう！



平成29年度

危険物安全週間

危険物安全週間が実施されます！

毎年6月の第2週は全国一斉に「危険物安全週間」が実施されます。今年は6月4日（日曜日）から10日（土曜日）までの7日間です。この一週間は、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進することにより、各事業所における自主保安体制の確立を図ることを目的に創設され、期間中全国で様々な行事等が行われます。



塩釜地区消防事務組合



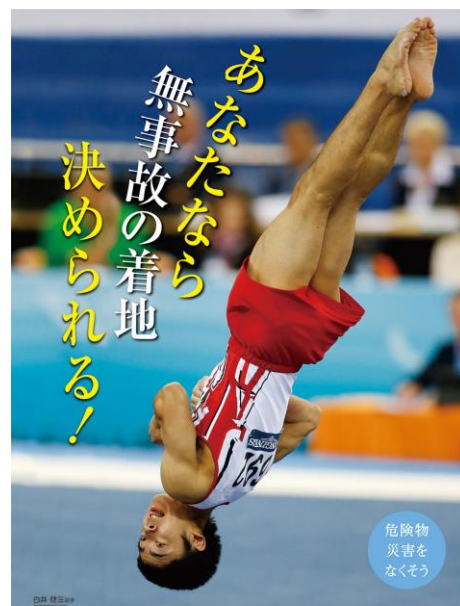
危険物安全週間中は、塩釜地区消防事務組合においても

(平成29年度危険物安全週間推進標語)

「あなたなら 無事故の着地 決められる！」

をスローガンに、危険物施設への立入検査の強化、通報・消火などの訓練指導、リーフレット配布などを行い、危険物に起因する災害の未然防止に努めて参ります。

平成29年度危険物安全週間推進ポスターのモデルは、日本体育大学所属の「白井健三選手」です。



危険物事故
をなくそう！



塩釜地区消防キャラクター
「塩防くん」

『危険物』とは？

消防法で定められているもので、一般的に次のような危険性を持った物品をいいます。

1. 火災発生の危険性が大きい
2. 火災拡大の危険性が大きい
3. 消火の困難性が高い

皆さんの身の回りにある危険物を含む商品の安全な使用・保管をお願いしています。

◎危険物を含む商品の例

燃料

ガソリン、
軽油、灯油



塗料

合成樹脂塗料、
ラッカーシンナー



化粧品

マニキュア、
除光液



その他

防水スプレー、アウトドア
用助燃剤、アロマオイル、
高濃度アルコール飲料

◎危険物を含む商品を使用・保管するときの注意事項

- ・風通しが良く、換気の良い場所で行いましょう。
- ・火気(ガステーブル、ライター等)の回りで使わないようにしましょう。

危険物事故の発生状況

全国における平成27年中の危険物施設事故は580件（火災事故215件、流出事故365件）で前年と比べて19件減少しました。

火災事故の発生原因は人的要因が多く、流出事故の発生原因は物的要因が多くなっています。

事故防止対策として、法令による規制に併せて、それぞれの施設における日常点検の徹底や作業員の安全意識を高めることが重要です。